

ネイチャーセンターだより

7月のみどころ

【上旬】

春国岱の第一砂丘で、ハマナスが赤い大きな花を咲かせます。「ナス」という名がついていますが、バラの仲間、枝にはトゲがあります。8月頃になると梨に似た形の赤い実が実ります。森や草原では小鳥のヒナたちが巣立ち、まだおぼつかない動きで飛んだり、親鳥にエサをおねだりする姿が見られます。



ハマナス

【中旬】

青いラメをちりばめたような黒い翅を持つカラスアゲハが、アザミなどの蜜を求めて飛びまわります。また、ネイチャーセンターに隣接する自然学習林では、メタリックグリーンの体がきれいなアオイトトンボが見られます。

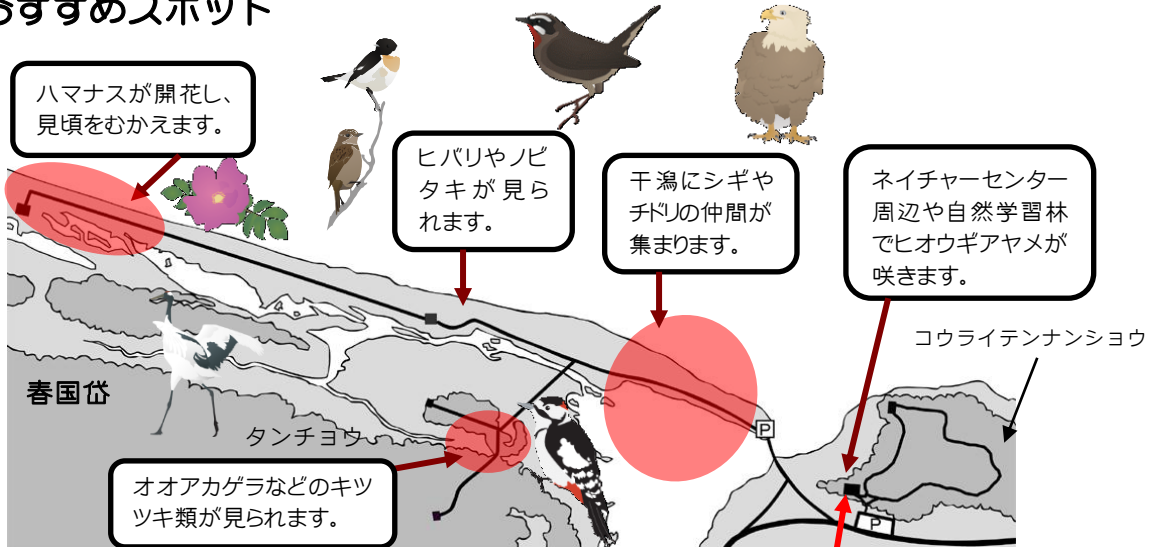


カラスアゲハ

【下旬】

秋の渡りが始まりシギ・チドリ類の姿が干潟で見られるようになります。彼らは9月上旬頃に徐々に南へと移動します。日本で一番大きなサギ「アオサギ」の大群が集まり、浅瀬で魚などを捕る様子が見られます。

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

海辺で発見！～穴の開いた貝の謎～

7月、根室でも日差しが強くなります。少し涼みたい、そんな時は海辺で生き物の観察をしてみませんか？砂浜や波打ち際は、一見何も生き物がいないように見えますが、よく観察すると、貝やヒトデなどの生き物や、いろいろな不思議なものが見つかります。



穴の開いたアサリの貝殻



ツメタガイ

中でも、是非探してもらいものは、アサリなどの2枚貝の貝殻です。落ちていた貝殻の表面を見てみてください。小さい穴が開いたものがありますか？それはツメタガイという肉食の巻貝がアサリなどの中身を食べるために開けた穴です。貝殻の一番尖っている場所を選んで穴をあけます。春国岱周辺の浜辺には彼らのエサとなるアサリがたくさんいるので、浜辺にはツメタガイの貝殻もたくさん落ちています。

そんなツメタガイの貝殻を利用する生き物がいます。それはヤドカリです。ヤドカリはツメタガイなど硬い巻貝の殻を使って柔らかい体を守ります。ヤドカリにとってツメタガイなど宿に使える貝殻がたくさん落ちていた春国岱はとても住みやすい場所だといえるでしょう。

身近な浜辺もゆっくりと歩くと生き物や生き物がいた痕跡を見つけることができます。茶碗をひっくり返したような形の砂の塊や人のツメのような形の貝殻など、生き物が作り出す不思議なものもたくさんあります。皆さんも、浜辺で見つかる様々なものを探してみてください。

春国岱クイズ

7月、春国岱の水辺に80羽以上のアオサギが集まります。

彼らは1日に最低でも約270gの食事とります。彼らを支えている春国岱の豊富な食べ物はいったいなんですか？

(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：春国岱でエサを食べているアオサギを観察してみよう！



アオサギ

さかな A 魚 みずくさ B 水草

答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…A)

いきもの図鑑



英名 Mandarin Duck 学名 *Aix galericulata*.

オシドリ（カモ科）
全長が48cmくらいのカモで、日本では本州中部以北で繁殖します。オスの繁殖羽は色鮮やかで、翼にあるイチヨウ羽と呼ばれる一対の大きな羽が特徴的です。主にドンングリや水草などの植物を食べますが、ときおり昆虫なども食べます。根室ではあまり見かけませんが、今年（2023年）はネイチャーセンター周辺と明治公園にオス1羽が姿を現しました。

レポート

身近な植物観察会

「スミレの仲間を見分けてみよう！」

6月10日、ネイチャーセンターで「根室地方スミレハンドブック」の著者である松下（宮野）和江氏を講師に迎え、スミレの見分け方の講習会を開催しました。

当日はあいにくの雨でしたが、室内で色鉛筆講座の講師も務めている松下講師の指導のもと、スミレのイラストを描きながら、根室地方で見られる代表的なスミレ12種類の茎の付き方や葉っぱの形などの特徴を学びました。

講習の後半には、雨も上がったため自然学習林を散策し、実際にスミレを観察して学んだ成果を試すことができました。



講習会のようす

レンジャー日記



6月5日、ネイチャーセンター前にある湿地の草の陰で何か小さいものが動いていました。センターの窓から双眼鏡を使ってよ〜く見てみると、なんとマガモのヒナがいました！

お母さんがモの後ろを10羽のヒナが短い足を使い一生懸命泳いでついていきます。ときには、何かに夢中になっていたのか、お母さんに置いて行かれ、猛スピードであわてたように追いかけるなんて様子も見られました。

キツネなどの外敵が心配ですが、ヒナには頑張っって全員無事に育ってってもらいたいものです。

【記 松岡】

NEWS

自然学習林に「夏」がやってきました

自然学習林は、木々の葉が生い茂り夏らしくなってきました。エゾオオサクラソウなどの初夏の花に代わり、コウライテンナンショウやオドリコソウ、ヒオウギアヤメ、アカネの仲間など、夏の花があちらこちらで咲いています。



コウライテンナンショウ



コブヒゲホソゾウムシ

花の移り変わりだけではなく、宝石のように光り輝く虫たち（ゾウムシの仲間など）や巣立ったばかりの小鳥のヒナなど、様々な生き物が季節の変化を教えてください。

皆さんも、身の回りの自然を観察して夏の息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
7/6～31 まで	タンチョウイラスト展 タンチョウが生息する地域の小中学生が描いた個性豊かなイラスト494点を展示します。	無料	申込み不要
8/5（日） 9:00～12:00	海辺の生き物観察会 春国岱周辺の海で生き物を観察してみませんか？たくさんの魚やヒトデに会えるかもしれませんよ♪	100円	7/31（火）までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 （先着） ※集合：春国岱ネイチャーセンター
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでかくされた本物を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。
いつでも	ラムサール クイズ ネイチャーセンターの展示フロアに出題されたクイズに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。

重要なお知らせ

7月16日から8月31日まで春国岱橋補修工事のため春国岱がご利用できなくなります。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

ボランティア



春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円
ボランティアグループスunk 1500円
- ◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…



美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場より奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆7月の休館日：4,11,17,18,25日
- ◆7月の開館時間：9:00～17:00
- ◆団体でご利用の方へ
自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。
(要 事前申込)

2012年6月発行